

(様式第1号)

研究No. (記載不要)	20 - デザイン - 3
-----------------	---------------

平成 20 年度配分 研究成果の概要

研究名	CAD・CG 教育の将来研究				
配分を受けた 特別研究費	特別研究費 1850千円				
研究者氏名 (代表者)	学 部 名 (研究科名)	学 科 名	職	氏 名	共同研究の 場合の分担
	デザイン学部	生産造形学科	講師	高山靖子	全体統括
共同 研 究 者	デザイン学部	生産造形学科	教授	河岡徳彦	プロダクトデザイン領域を中心とした調査及び方向付け
	デザイン学部	メディア造形学科	教授	望月達也	プロダクトデザイン領域を中心とした調査及び方向付け
	デザイン学部	メディア造形学科	准教授	的場ひろし	ユーザーインターフェース領域を中心とした調査及び方向付け
	デザイン学部	メディア造形学科	教授	宮田圭介	ユーザーインターフェース領域を中心とした調査及び方向付け
	デザイン学部	空間造形学科	准教授	花澤信太郎	空間デザイン領域を中心とした調査及び方向付け
	スズキ株式会社	二輪デザイン部	学外協力	平野浩史	企業内デザイン情報環境を中心とした情報提供およびアドバイザー
発表の方法 (予定で可)	1 紀 要			号 数	第 号 (年 月発行)
	2 学会等での発表 学会等名:			発表日 (発表 予定日)	平成 年 月 日
	3 その他 発表の方法: デザイン学部情報交換会にて口頭発表			発表日 (発表 予定日)	平成 21 年 7 月 23 日

注:配分を受けた翌年度の6月末までに提出

(研究の目的等)

現在、デザインプロセスで欠かすことのできないスキルとなった CAD(Computer Aided Design)の現状を分析し、社会から求められる人材を展望。それに基づいた人材育成を目標とする本学における CAD・CG 教育の次世代カリキュラム構想を提案する。

(研究の実施方法等)

1. 社会的な人材の需要

- ・企業訪問、聞き取り、関連文献などによるデータ収集。

2. 本学への求人と学生の希望状況

- ・本学学生へのアンケート集計結果に基づく分析

3. 他大学の状況

- ・公開シラバス収集・分析
- ・大学訪問、担当教員への聞き取り調査

上記3点を実施、分析し、将来のカリキュラム構想を提案した。

(得られた成果等)

社会からデザイン系大学に求められる人材の把握。

学生の希望実態把握。

プロダクトデザイン領域で行われているCAD教育の実情把握。

デザイン業界におけるCADツールの使用実態の把握。

社会の要望に適した人材育成のためのプログラムの骨組み提案。

大学機材の見直し。

以上の成果を本年度実施のCAD教育研究における具体的なCAD教育プログラムへ反映させ、研究を継続中である。